

大阪市立大学大学院工学研究科

医工・生命工学教育研究センター：

BMEC BioMedical Engineering Center

第14回セミナー

日時

2021年

6月7日(月) 17:10～18:50

場所

オンラインにて実施

(詳細はお問合せください。)

「核酸メチル化修飾の検出と操作」

今西 未来 先生
博士 (薬学)

京都大学化学研究所 生体機能設計化学
研究領域 准教授

ゲノムDNAや転写産物RNAの一次配列に加えて、エピジェネティック修飾やエピトランスクリプトミック修飾と呼ばれる核酸の修飾が遺伝子発現に重要な役割を果たしている。これらの役割を理解するためには、配列選択的に核酸の修飾状態を検出したり、操作する方法論が求められている。私たちは、天然に存在する核酸結合タンパク質を鋳型として、DNAメチル化を配列選択的に検出する人工タンパク質を創製した。また、RNAの代表的な修飾であるN6-メチルアデノシンを簡便に検出する手法の開発や、配列選択的にRNAのメチル化状態を制御する人工タンパク質の創製に取り組んできた。本講演では、これまでに得られた知見の紹介と、核酸の標的化の展望に関する議論を行う。

[問い合わせ先]

大阪市立大学大学院工学研究科

医工・生命工学教育研究センター センター長 白藤

TEL : 06-6605-2681 e-mail: shirafuji@osaka-cu.ac.jp